

**IP\_SMPTE2022\_Video**

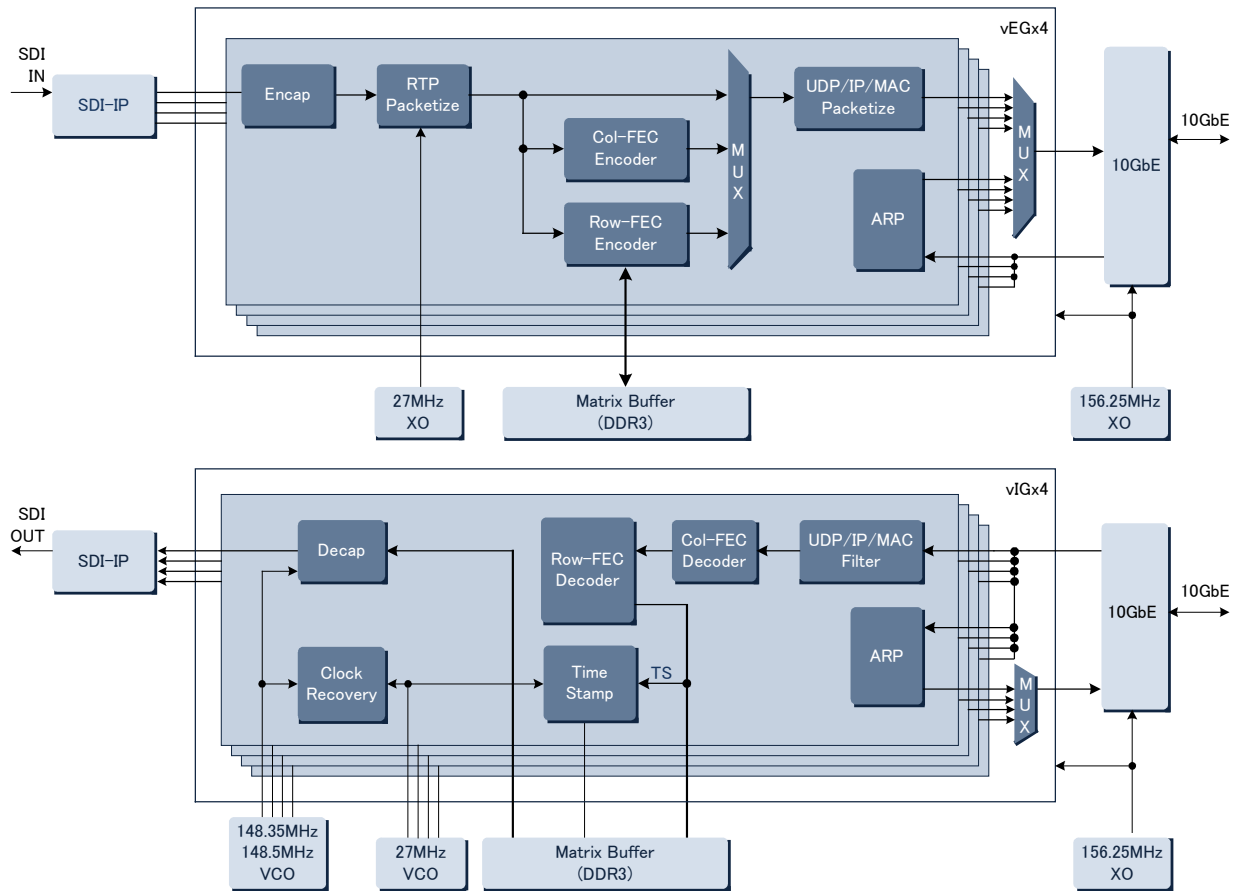
IP\_SMPTE2022\_Video は、SMPTE2022-5/6/7 に準拠した IP コアである

受信側でのクロック再生は、タイムスタンプに対応した RTP プロトコルを使用し、ネットワークの packets 損失やリオーダーリングに対応するため、強力な誤り訂正機能である LFEC/DFEC を付加することができる。

IP\_SMPTE2022\_Video は、送信側の vEGVD(Egress-Core)と、受信側の vIGVD(Ingress-Core)の 2 タイプがあり、単体または複数で、また組み合わせて使用することができる。

また、回線側は変更可能であり、10GbE/25GbE/40GbE (10GbEx4)/100GbE (25GbEx4)等が対応可能である。

特長	vEG	vIG
1. 3G/HD の 20bit パラレルデータの複数ポート入力または出力が可能 ※SD はオプション	○	○
2. SMPTE 2022-6-2007 に準拠した UDP/RTP プロトコルを使用	○	○
3. SMPTE 2022-5-2007 に準拠した FEC による誤り訂正機能	○	○
4. MAC/IP/UDP/RTP フィルタリング	—	○
5. IPv4 および IPv6 の対応が可能	○	○
6. ARP の搭載が可能	○	○
7. SMPTE 2022-7(Hitless 対応)に準拠したヒットレス対応が可能	○	○



IP\_SMPTE2022\_TS

IP\_SMPTE2022\_TS は、SMPTE2022-1/2 に準拠した IP コアである

受信側でのクロック再生は、タイムスタンプに対応した RTP プロトコルを使用し、ネットワークの packets 損失やリオーダーリングに対応するため、強力な誤り訂正機能である LFEC/DFEC を付加することができる。

IP\_SMPTE2022\_TS は、送信側の vEGTS(Egress-Core)と、受信側の vIGTS(Ingress-Core)の 2 タイプがあり、単体または複数で、また組み合わせて使用することができる。

また、回線側は変更可能であり、1GbE であれば TS=4 ポートまで対応が可能である

特長	vEGx1	vIGx1
8. MPEG-TS Over IP 送信機能	○	—
9. MPEG-TS Over IP 受信機能	—	○
10. SMPTE 2022-2-2007 に準拠した UDP/RTP プロトコルを使用	○	○
11. SMPTE 2022-1-2007 に準拠した FEC による誤り訂正機能	○	○
12. MAC/IP/UDP/RTP フィルタリング	—	○
13. IPv4 および IPv6 の対応が可能	○	○
14. ARP の搭載が可能	○	○
15. TTS(タイムスタンプ付き TS)に対応	—	○

